

# テンプレトン世界債券ファンド

限定為替ヘッジコース

為替ヘッジなしコース

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

(愛称：地球号)

限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコース

第20期(決算日 2020年12月21日)

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

第114期(決算日 2020年7月20日)

第115期(決算日 2020年8月20日)

第116期(決算日 2020年9月23日)

第117期(決算日 2020年10月20日)

第118期(決算日 2020年11月20日)

第119期(決算日 2020年12月21日)

## 運用報告書(全体版)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「テンプレトン世界債券ファンド」は2020年12月21日に決算(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは第20期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは第119期)を行いました。ここに、限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースの第20期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースの第114期から第119期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社となる予定です。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00~17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<https://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国(新興国を含む)の国債および政府機関債等に実質的な投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主な投資対象	主として、以下の外国投資証券および投資信託受益証券に投資を行います。 「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」 「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」
組入制限	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外資建資産への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは毎年6月および12月の20日(休業日の場合は翌営業日)、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは毎月20日(休業日の場合は翌営業日))に、基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。 分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 なお、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは6月および12月以外の月の決算時の分配については、原則として配当等収益を中心とするものとします。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 目 次

<b>テンプレートン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース</b> .....	<b>1</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	1
運用経過 .....	2
1万口当たりの費用明細 .....	7
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	9
投資信託財産の構成 .....	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	11
分配金のお知らせ .....	12
<b>テンプレートン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>13</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	13
運用経過 .....	14
1万口当たりの費用明細 .....	19
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	21
投資信託財産の構成 .....	22
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	23
分配金のお知らせ .....	24
<b>テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>25</b>
最近30期の運用実績 .....	25
当作成期中の基準価額の推移 .....	26
運用経過 .....	27
1万口当たりの費用明細 .....	32
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	34
投資信託財産の構成、資産、負債、元本及び基準価額の状況 .....	35
損益の状況 .....	36
分配金のお知らせ .....	38
<b>投資対象ファンド</b> .....	<b>39</b>
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について .....	39
日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）の運用状況について .....	45

## テンブルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 込 配 金	騰 落 率		
16期(2018年12月20日)	円 10,866	円 10	% 1.0	% 98.8	百万円 5,039
17期(2019年6月20日)	11,002	10	1.3	98.7	5,043
18期(2019年12月20日)	10,478	10	△4.7	99.4	4,543
19期(2020年6月22日)	10,015	10	△4.3	99.0	4,222
20期(2020年12月21日)	9,955	10	△0.5	99.0	3,981

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

### ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2020年6月22日	円 10,015	% -	% 99.0	% 99.0
6月末	9,969	△0.5	99.0	99.0
7月末	9,985	△0.3	99.1	99.1
8月末	9,909	△1.1	99.2	99.2
9月末	9,849	△1.7	99.3	99.3
10月末	9,907	△1.1	99.3	99.3
11月末	9,942	△0.7	99.5	99.5
(期 末) 2020年12月21日	9,965	△0.5	99.0	99.0

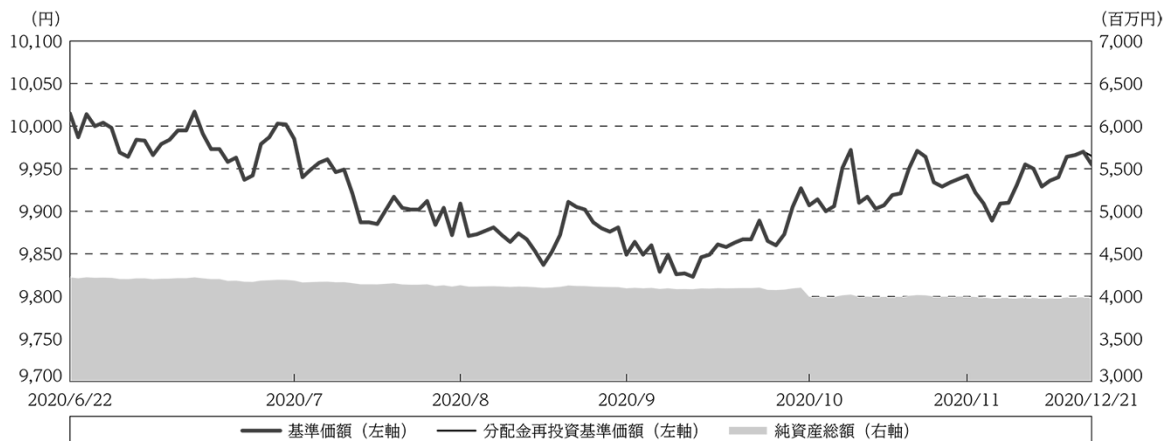
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2020年6月23日～2020年12月21日)

### 期中の基準価額等の推移



期首：10,015円

期末：9,955円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 0.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年6月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・템플トン・インベストメント・ファンズー・テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)  
の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY-H1」(以下、JPY限定為替ヘッジ・クラスといいます。)  
の分配金再投資基準価額が前期末とほぼ同水準となったことから、当ファンドの分配金再投資基準価額も前期末並みとなりました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動
- ・米ドル売り円買いの為替予約取引等による為替ヘッジコスト

## 投資環境

### (債券市場)

当期、米国国債の発行規模が拡大する見通しとなる中、需給面での悪化懸念や追加経済対策への期待などを受けて、米国10年国債利回りは上昇（債券価格は低下）しました。一方、欧州や新興国の長期債の利回りは全般に低下（債券価格は上昇）しました。

米国の債券市場では、期首から2020年8月初めにかけては、米国内で新型コロナウイルス感染の再拡大が見られる中、雇用環境への懸念も広がり、利回りは低下基調となりました。また、7月末に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）を受け、市場では緩和的な金融環境の長期化観測が広がり、利回りの低下圧力も強まりました。その後は、8月の米国財務省による過去最大規模の国債発行計画の発表を受けて需給悪化懸念が高まったことに加え、11月実施の米国大統領選挙が近づくとつれ、民主党のバイデン氏優勢との見方が広がる中、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によってさらに歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測から利回りは上昇基調となりました。米国で再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、都市封鎖等によって経済活動が抑制されるとの懸念から利回りが低下する場面もありましたが、期末にかけて連邦政府による追加経済対策への期待の高まりから利回りは上昇しました。結局、米国10年国債利回りは期首の0.6%台から上昇し0.9%台で期末を迎えました。

欧州の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首の-0.4%台から低下し-0.5%台で期末を迎えました。

新興国債券の利回りは、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を維持したことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル106円台後半から期末には103円台半ばへとドル安円高となりました。

期初から2020年6月末にかけては、それまで新型コロナウイルスの感染拡大から急速に落ち込んだ米国経済指標が回復の兆しを示したことを受けて米ドルが買われ、1米ドル108円台の水準までドル高円安が進みました。しかし7月には、米国議会における追加的経済対策の合意に向けての進展が見られなかったことや、米中双方が相手国の総領事館を閉鎖するなど対立の激化が懸念されたことを受けて米ドルが売られ、104円台までドル安円高が進みました。その後は米国における新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念や追加経済対策への期待、発表された米国経済指標の内容などを材料にレンジ内での動きが続きましたが、米国大統領選挙を受け政局への不透明感が払拭されたことや11月初に開催されたFOMCで米連邦準備理事会（FRB）は現行の政策維持を決定したものの、景気回復の支援に向けて金融緩和強化の姿勢を示したことを

# FRANKLIN TEMPLETON®

受けて米ドルが売られ、1米ドル103円台前半までドル安円高が進行しました。その後、欧米企業の新型コロナウイルスのワクチン開発進展の報道を受け米ドルが買い戻され、105円台半ばまでドル高円安となる場面もありましたが、米国内の感染再拡大で経済活動の制限措置が講じられたことや、発表された米国経済指標が軟調となったことなどを背景に米ドルが売られ、結局、米ドルの対円相場は期首を下回る水準で期末を終えました。

ユーロは、米ドルおよび円に対しては堅調となりました。また、新興国通貨は対円でまちまちの動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### (テンプレートン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンプレートン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

当期末の組入比率は、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」が98.9%、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」が0.1%となりました。

### (投資対象ファンド：テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

#### <国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本24.5%、メキシコ13.7%、インドネシア10.8%、ノルウェー10.0%、韓国7.6%となりました。

#### <通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル61.4%、円50.8%、インドネシアルピア10.8%となる一方で、ユーロ-35.8%、豪ドル-18.9%となりました。

#### <信用格付別配分>

主な配分については、投資適格79.5%、非投資適格9.0%、その他11.5%となりました。

(2020年11月末時点)

### (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2020年6月23日～ 2020年12月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.100%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,123

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンブルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンブルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

##### ○市場見通し(2020年11月末時点)

世界債券市場においてリスクを積み増すことには慎重な姿勢を継続し、今後、一定の投資機会が生じるまでには時間がかかるものと予想します。新型コロナウイルスの急速な拡大に対応するため、今後も数ヶ月にわたり都市封鎖や様々な規制の継続が必要になると考えます。ワクチンが幅広く行き渡るまでは、移動規制が新型コロナウイルスの拡大を抑制する最も効果的な手段となり、それに伴う所得の喪失や需要の低下などが経済にマイナスの影響を及ぼすことになるでしょう。

運用チームでは、今後数ヶ月に亘る感染拡大時には安全資産と呼ばれる投資先に注目する一方、徐々にワクチンの開発によって感染が抑制される中で、最終的に安全資産のポートフォリオにおける重要性は低下し、コロナ禍後に向け世界が変化するにつれ、いくつかの地域に投資先をシフトする方針です。ただし、選別が重要になると考えています。いくつかのリスク資産は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が過小評価され

# FRANKLIN TEMPLETON®

ており、依然として割高となっています。資産価格と実際のマクロ経済のファンダメンタルズに大きな乖離が見られることから、2021年の1-3月期にかけて市場のボラティリティが高まるリスクがあるとみています。

また、ポストコロナの世界を確立していく中で、環境・社会・ガバナンス（ESG）要因が重要な役割を果たすものと考えます。社会的結束および堅固なガバナンスは、国の危機後の回復を加速させる力になる一方、（社会的結束および堅固なガバナンスが）欠けている国では、回復の妨げになる可能性もあります。残念なことに一部の新興国においてESG要因の弱さによる影響が露呈しています。脆弱な医療体制やインフラ整備の遅れにより、公衆衛生危機への備えが十分でなかった国や、財政不均衡、多額の債務、高い対外依存度により経済危機への備えが十分でなかった国では、国民の生命や生活への影響が大きくなっています。これに対し、コロナ危機以前から相対的に堅固な社会基盤を有し、債務水準も低く、経済の多様化が進んだ国は、概ね健闘しています。

多くの国で所得格差が拡大していることも経済の安定性を弱め、社会的な分断を増長しかねない重大な問題となっています。今回のパンデミックによって景気が悪化し、失業者が増加したことで、すでに存在していた構造的な問題が悪化しています。今後、これらの困難に対し正しく対処することができる国は経済基盤を強化することが可能となる一方、これらの困難を放置する国はさらに経済が不安定になる恐れがあります。運用チームでは、今後の債券市場においてESGが重要な要素になると考えています。ESG要因の改善が見込まれる国が、最も魅力的な投資機会を提供することが多いと考えます。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。先進国を大きくアンダーウェイトとし、米国国債では短期から中期ゾーンを選好して長期ゾーンは非保有としています。また欧州も非保有とする一方で、引き続き主要先進国以外で強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券を選別的に保有しています。それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルリアルについては各々為替ヘッジを行っています。全体として、割高で脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## （投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定））

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.535	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕}$
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	53	0.539	
期中の平均基準価額は、9,926円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

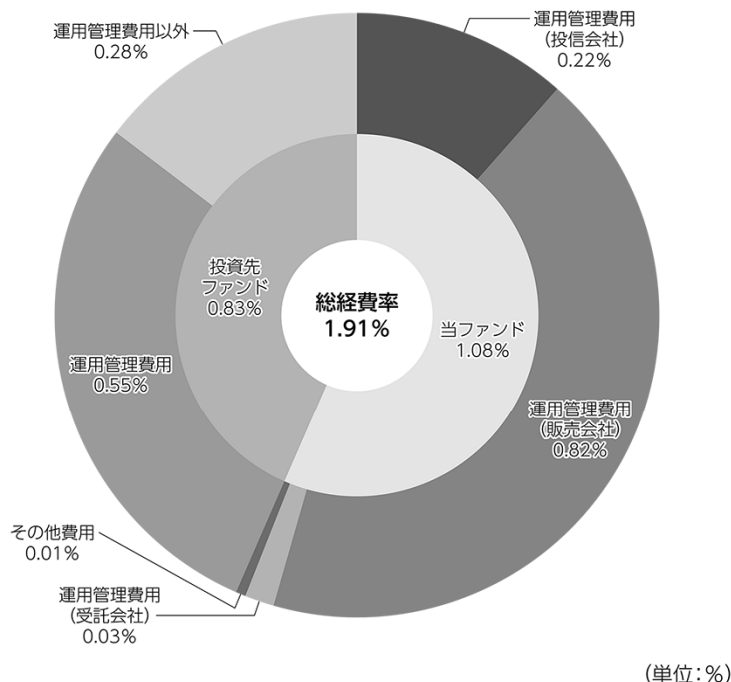
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年6月23日～2020年12月21日)

### 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-HI	110,103	79,525	330,945	239,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年12月21日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)		2,703,566	2,703,566	2,847	0.1
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-HI		5,679,152	5,458,309	3,938,388	98.9
合 計		8,382,718	8,161,875	3,941,235	99.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2020年12月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,847	% 0.1
投資証券	3,938,388	98.2
コール・ローン等、その他	67,731	1.7
投資信託財産総額	4,008,966	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月21日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	4,008,966,897
コール・ローン等	67,731,051
投資信託受益証券(評価額)	2,847,125
投資証券(評価額)	3,938,388,721
(B) 負債	27,393,977
未払収益分配金	3,999,587
未払解約金	1,307,797
未払信託報酬	21,929,062
未払利息	185
その他未払費用	157,346
(C) 純資産総額(A-B)	3,981,572,920
元本	3,999,587,277
次期繰越損益金	△ 18,014,357
(D) 受益権総口数	3,999,587,277口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,955円

○損益の状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	77,812,395
受取配当金	77,833,512
支払利息	△ 21,117
(B) 有価証券売買損益	△ 75,776,573
売買益	3,798,704
売買損	△ 79,575,277
(C) 信託報酬等	△ 22,086,665
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 20,050,843
(E) 前期繰越損益金	△ 336,450,450
(F) 追加信託差損益金	342,486,523
(配当等相当額)	( 639,402,503)
(売買損益相当額)	(△ 296,915,980)
(G) 計(D+E+F)	△ 14,014,770
(H) 収益分配金	△ 3,999,587
次期繰越損益金(G+H)	△ 18,014,357
追加信託差損益金	342,486,523
(配当等相当額)	( 639,402,503)
(売買損益相当額)	(△ 296,915,980)
分配準備積立金	1,009,723,605
繰越損益金	△1,370,224,485

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- 期首元本額は4,216,468,435円、期中追加設定元本額は18,211,039円、期中一部解約元本額は235,092,197円です。
- 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は18,014,357円です。
- 期末における1口当たり純資産額は0.9955円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(55,725,730円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(639,402,503円)及び分配準備積立金(957,997,462円)より、分配対象収益は、1,653,125,695円(1万口当たり4,133円)であり、うち3,999,587円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## テンプルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落 率		
16期(2018年12月20日)	円 15,388	円 10	% 4.5	% 98.8	百万円 5,014
17期(2019年6月20日)	15,190	10	△1.2	98.7	4,776
18期(2019年12月20日)	14,830	10	△2.3	99.4	4,452
19期(2020年6月22日)	14,006	10	△5.5	99.0	3,915
20期(2020年12月21日)	13,514	10	△3.4	98.9	3,466

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

## ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2020年6月22日	円 14,006		% -	% 99.0
6月末	14,047		0.3	98.9
7月末	13,709		△2.1	98.8
8月末	13,689		△2.3	99.2
9月末	13,649		△2.5	99.2
10月末	13,604		△2.9	99.2
11月末	13,581		△3.0	99.5
(期 末) 2020年12月21日	13,524		△3.4	98.9

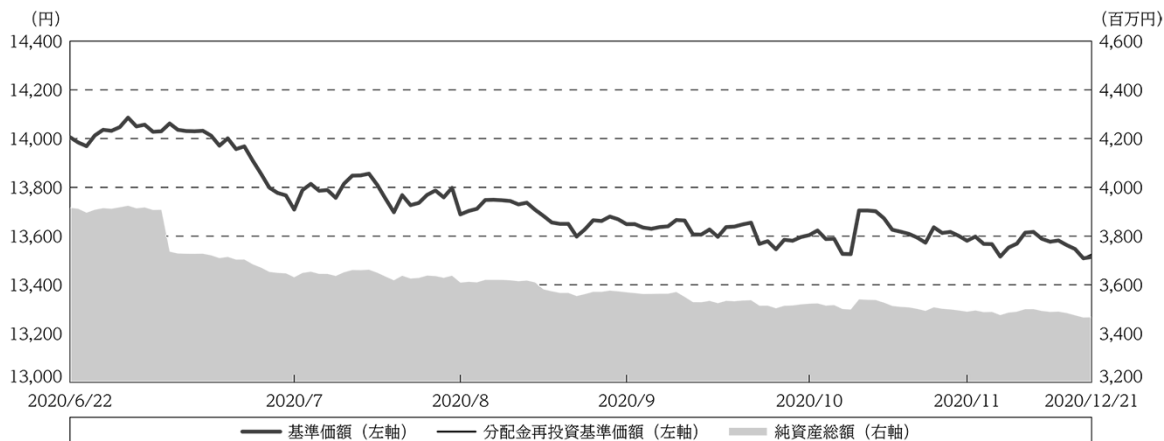
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2020年6月23日～2020年12月21日)

### 期中の基準価額等の推移



期 首：14,006円

期 末：13,514円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 3.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年6月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンダー・テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。



なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当期、米国国債の発行規模が拡大する見通しとなる中、需給面での悪化懸念や追加経済対策への期待などをを受けて、米国10年国債利回りは上昇（債券価格は低下）しました。一方、欧州や新興国の長期債の利回りは全般に低下（債券価格は上昇）しました。

米国の債券市場では、期首から2020年8月初めにかけては、米国内で新型コロナウイルス感染の再拡大が見られる中、雇用環境への懸念も広がり、利回りは低下基調となりました。また、7月末に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）を受け、市場では緩和的な金融環境の長期化観測が広がり、利回りの低下圧力も強まりました。その後は、8月の米国財務省による過去最大規模の国債発行計画の発表を受けて需給悪化懸念が高まったことに加え、11月実施の米国大統領選挙が近づくにつれ、民主党のバイデン氏優勢との見方が広がる中、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によってさらに歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測から利回りは上昇基調となりました。米国で再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、都市封鎖等によって経済活動が抑制されるとの懸念から利回りが低下する場面もありましたが、期末にかけて連邦政府による追加経済対策への期待の高まりから利回りは上昇しました。結局、米国10年国債利回りは期首の0.6%台から上昇し0.9%台で期末を迎えました。

欧州の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首の-0.4%台から低下し-0.5%台で期末を迎えました。

新興国債券の利回りは、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を維持したことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル106円台後半から期末には103円台半ばへとドル安円高となりました。

期初から2020年6月末にかけては、それまで新型コロナウイルスの感染拡大から急速に落ち込んだ米国経済指標が回復の兆しを示したことなどをを受けて米ドルが買われ、1米ドル108円台の水準までドル高円安が進みました。しかし7月には、米国議会における追加的経済対策の合意に向けての進展が見られなかったことや、米中双方が相手国の総領事館を閉鎖するなど対立の激化が懸念されたことなどをを受けて米ドルが売られ、104円台までドル安円高が進みました。その後は米国における新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念や追加経済対策への期待、発表された米国経済指標の内容などを材料にレンジ内での動きが続きましたが、米国大統領選挙を受け政局への不透明感が払拭されたことや11月初に開催されたFOMCで米連邦準備理事会（FRB）は現行の政策維持を決定したものの、景気回復の支援に向けて金融緩和強化の姿勢を示したことをを受けて米ドルが売られ、1米ドル103円台前半までドル安円高が進行しました。その後、欧米企業の新型コロ

# FRANKLIN TEMPLETON®

ナウウイルスのワクチン開発進展の報道を受け米ドルが買い戻され、105円台半ばまでドル高円安となる場面もありましたが、米国内の感染再拡大で経済活動の制限措置が講じられたことや、発表された米国経済指標が軟調となったことなどを背景に米ドルが売られ、結局、米ドルの対円相場は期首を下回る水準で期末を終えました。

ユーロは、米ドルおよび円に対しては堅調となりました。また、新興国通貨は対円でまちまちの動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレートン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンプレートン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

当期末の組入比率は、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」が98.6%、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」が0.3%となりました。

(投資対象ファンド：テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本24.5%、メキシコ13.7%、インドネシア10.8%、ノルウェー10.0%、韓国7.6%となりました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル61.4%、円50.8%、インドネシアルピア10.8%となる一方で、ユーロ-35.8%、豪ドル-18.9%となりました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格79.5%、非投資適格9.0%、その他11.5%となりました。

(2020年11月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2020年6月23日～ 2020年12月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.074%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,597

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンブルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンブルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

##### ○市場見通し(2020年11月末時点)

世界債券市場においてリスクを積み増すことには慎重な姿勢を継続し、今後、一定の投資機会が生じるまでには時間がかかるものと予想します。新型コロナウイルスの急速な拡大に対応するため、今後も数ヶ月にわたり都市封鎖や様々な規制の継続が必要になると考えます。ワクチンが幅広く行き渡るまでは、移動規制が新型コロナウイルスの拡大を抑制する最も効果的な手段となり、それに伴う所得の喪失や需要の低下などが経済にマイナスの影響を及ぼすことになるでしょう。

運用チームでは、今後数ヶ月に亘る感染拡大時には安全資産と呼ばれる投資先に注目する一方、徐々にワクチンの開発によって感染が抑制される中で、最終的に安全資産のポートフォリオにおける重要性は低下し、コロナ禍後に向け世界が変化するにつれ、いくつかの地域に投資先をシフトする方針です。ただし、選別が重要になると考えています。いくつかのリスク資産は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が過小評価され

# FRANKLIN TEMPLETON®

しており、依然として割高となっています。資産価格と実際のマクロ経済のファンダメンタルズに大きな乖離が見られることから、2021年の1-3月期にかけて市場のボラティリティが高まるリスクがあるとみています。

また、ポストコロナの世界を確立していく中で、環境・社会・ガバナンス（ESG）要因が重要な役割を果たすものと考えます。社会的結束および堅固なガバナンスは、国の危機後の回復を加速させる力になる一方、（社会的結束および堅固なガバナンスが）欠けている国では、回復の妨げになる可能性もあります。残念なことに一部の新興国においてESG要因の弱さによる影響が露呈しています。脆弱な医療体制やインフラ整備の遅れにより、公衆衛生危機への備えが十分でなかった国や、財政不均衡、多額の債務、高い対外依存度により経済危機への備えが十分でなかった国では、国民の生命や生活への影響が大きくなっています。これに対し、コロナ危機以前から相対的に堅固な社会基盤を有し、債務水準も低く、経済の多様化が進んだ国は、概ね健闘しています。

多くの国で所得格差が拡大していることも経済の安定性を弱め、社会的な分断を増長しかねない重大な問題となっています。今回のパンデミックによって景気が悪化し、失業者が増加したことで、すでに存在していた構造的な問題が悪化しています。今後、これらの困難に対し正しく対処することができる国は経済基盤を強化することが可能となる一方、これらの困難を放置する国はさらに経済が不安定になる恐れがあります。運用チームでは、今後の債券市場においてESGが重要な要素になると考えています。ESG要因の改善が見込まれる国が、最も魅力的な投資機会を提供することが多いと考えます。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。先進国を大きくアンダーウェイトとし、米国国債では短期から中期ゾーンを選好して長期ゾーンは非保有としています。また欧州も非保有とする一方で、引き続き主要先進国以外で強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券を選別的に保有しています。それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルレアルについては各々為替ヘッジを行っています。全体として、割高で脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## （投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定））

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 73	% 0.535	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(15)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(56)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.004	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕}$
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.004)	その他費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	74	0.539	
期中の平均基準価額は、13,713円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

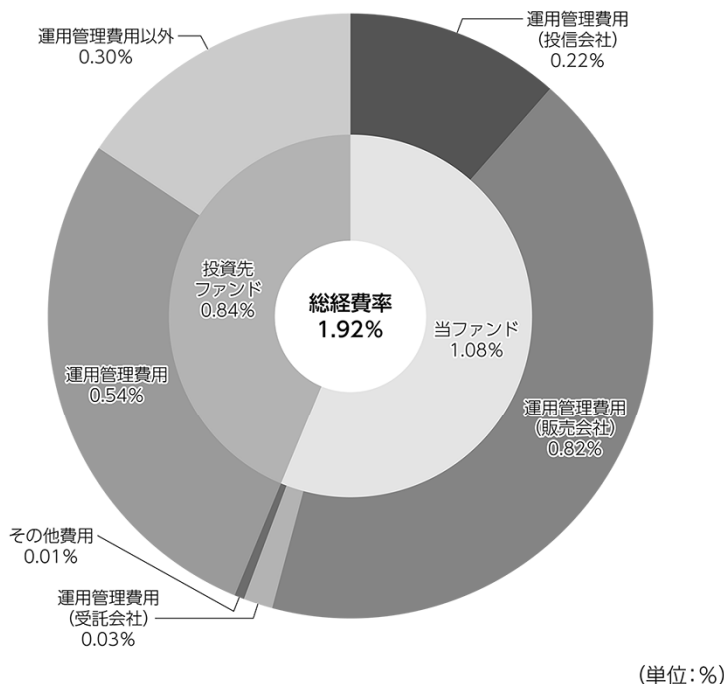
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率(①+②+③)	1.92
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年6月23日～2020年12月21日)

### 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	71,270	70,180	341,067	341,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年12月21日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)		11,202,737	11,202,737	11,797	0.3
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY		3,821,295	3,551,498	3,416,967	98.6
合 計		15,024,032	14,754,235	3,428,765	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2020年12月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,797	% 0.3
投資証券	3,416,967	97.8
コール・ローン等、その他	65,557	1.9
投資信託財産総額	3,494,321	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,494,321,213
コール・ローン等	65,556,142
投資信託受益証券(評価額)	11,797,602
投資証券(評価額)	3,416,967,469
(B) 負債	27,707,241
未払収益分配金	2,565,163
未払解約金	5,715,702
未払信託報酬	19,287,807
未払利息	179
その他未払費用	138,390
(C) 純資産総額(A-B)	3,466,613,972
元本	2,565,163,120
次期繰越損益金	901,450,852
(D) 受益権総口数	2,565,163,120口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,514円

○損益の状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	68,898,071
受取配当金	68,920,492
支払利息	△ 22,421
(B) 有価証券売買損益	△ 171,715,087
売買益	6,260,413
売買損	△ 177,975,500
(C) 信託報酬等	△ 19,426,422
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 122,243,438
(E) 前期繰越損益金	△ 97,594,786
(F) 追加信託差損益金	1,123,854,239
(配当等相当額)	( 903,029,552)
(売買損益相当額)	( 220,824,687)
(G) 計(D+E+F)	904,016,015
(H) 収益分配金	△ 2,565,163
次期繰越損益金(G+H)	901,450,852
追加信託差損益金	1,123,854,239
(配当等相当額)	( 903,029,552)
(売買損益相当額)	( 220,824,687)
分配準備積立金	1,302,464,583
繰越損益金	△1,524,867,970

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 期首元本額は2,795,855,211円、期中追加設定元本額は48,471,712円、期中一部解約元本額は279,163,803円です。  
(2) 期末における1口当たり純資産額は1.3514円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(49,471,649円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(903,029,552円)及び分配準備積立金(1,255,558,097円)より、分配対象収益は、2,208,059,298円(1万口当たり8,607円)であり、うち2,565,163円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

テンブルトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落			中 率
	円		円		%	百万円	
90期(2018年7月20日)	12,871		50		3.8	98.8	692
91期(2018年8月20日)	12,516		50		△2.4	98.7	662
92期(2018年9月20日)	12,422		50		△0.4	98.7	639
93期(2018年10月22日)	12,801		50		3.5	98.8	653
94期(2018年11月20日)	12,725		50		△0.2	98.7	647
95期(2018年12月20日)	12,707		50		0.3	98.8	647
96期(2019年1月21日)	12,593		50		△0.5	98.7	632
97期(2019年2月20日)	12,686		50		1.1	98.6	373
98期(2019年3月20日)	12,783		50		1.2	98.7	374
99期(2019年4月22日)	12,859		50		1.0	98.6	375
100期(2019年5月20日)	12,353		50		△3.5	98.4	344
101期(2019年6月20日)	12,225		50		△0.6	98.7	344
102期(2019年7月22日)	12,320		50		1.2	98.7	297
103期(2019年8月20日)	11,624		50		△5.2	98.8	272
104期(2019年9月20日)	11,629		50		0.5	98.9	269
105期(2019年10月21日)	11,591		50		0.1	98.8	267
106期(2019年11月20日)	11,563		50		0.2	98.8	266
107期(2019年12月20日)	11,660		50		1.3	98.9	251
108期(2020年1月20日)	11,748		50		1.2	98.7	252
109期(2020年2月20日)	11,768		50		0.6	98.7	252
110期(2020年3月23日)	11,188		50		△4.5	99.0	233
111期(2020年4月20日)	10,858		50		△2.5	98.8	225
112期(2020年5月20日)	10,836		50		0.3	98.7	225
113期(2020年6月22日)	10,738		50		△0.4	98.9	206
114期(2020年7月20日)	10,650		50		△0.4	99.0	204
115期(2020年8月20日)	10,481		25		△1.4	98.6	199
116期(2020年9月23日)	10,351		25		△1.0	98.9	190
117期(2020年10月20日)	10,341		25		0.1	98.7	190
118期(2020年11月20日)	10,259		25		△0.6	98.2	162
119期(2020年12月21日)	10,197		25		△0.4	98.0	147

(注) 基準価額(1万円当たり)の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当作成期中の基準価額の推移

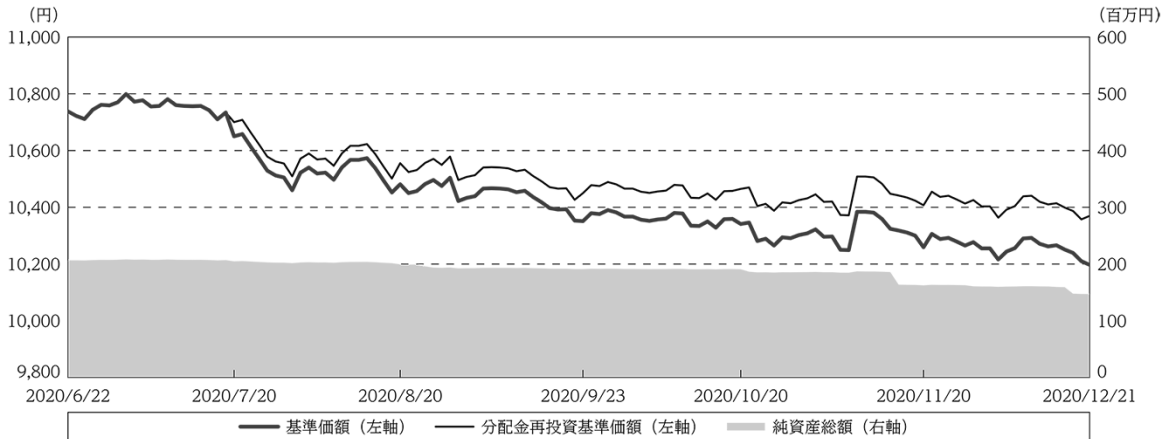
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 入 比 率
			騰 落 率	率	
第114期	(期 首) 2020年6月22日	円		%	%
	6月末	10,738		—	98.9
		10,770		0.3	98.8
第115期	(期 末) 2020年7月20日	10,700		△0.4	99.0
	(期 首) 2020年7月20日	10,650		—	99.0
	7月末	10,460		△1.8	98.8
第116期	(期 末) 2020年8月20日	10,506		△1.4	98.6
	(期 首) 2020年8月20日	10,481		—	98.6
	8月末	10,422		△0.6	98.6
第117期	(期 末) 2020年9月23日	10,376		△1.0	98.9
	(期 首) 2020年9月23日	10,351		—	98.9
	9月末	10,367		0.2	98.9
第118期	(期 末) 2020年10月20日	10,366		0.1	98.7
	(期 首) 2020年10月20日	10,341		—	98.7
	10月末	10,308		△0.3	98.4
第119期	(期 末) 2020年11月20日	10,284		△0.6	98.2
	(期 首) 2020年11月20日	10,259		—	98.2
	11月末	10,265		0.1	98.2
	(期 末) 2020年12月21日	10,222		△0.4	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年6月23日～2020年12月21日)

作成期間中の基準価額等の推移



第114期首：10,738円

第119期末：10,197円 (既払分配金(税込み)：175円)

騰落率：△ 3.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年6月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

# FRANKLIN TEMPLETON®

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当作成期、米国国債の発行規模が拡大する見通しとなる中、需給面での悪化懸念や追加経済対策への期待などを受けて、米国10年国債利回りは上昇（債券価格は低下）しました。一方、欧州や新興国の長期債の利回りは全般に低下（債券価格は上昇）しました。

米国の債券市場では、当作成期首から2020年8月初めにかけては、米国内で新型コロナウイルス感染の再拡大が見られる中、雇用環境への懸念も広がり、利回りは低下基調となりました。また、7月末に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）を受け、市場では緩和的な金融環境の長期化観測が広がり、利回りの低下圧力も強まりました。その後は、8月の米国財務省による過去最大規模の国債発行計画の発表を受けて需給悪化懸念が高まったことに加え、11月実施の米国大統領選挙が近づくとつれ、民主党のバイデン氏優勢との見方が広がる中、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によってさらに歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測から利回りは上昇基調となりました。米国で再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、都市封鎖等によって経済活動が抑制されるとの懸念から利回りが低下する場面もありましたが、当作成期末にかけて連邦政府による追加経済対策への期待の高まりから利回りは上昇しました。結局、米国10年国債利回りは当作成期首の0.6%台から上昇し0.9%台で当作成期末を迎えました。

欧州の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは当作成期首の-0.4%台から低下し-0.5%台で当作成期末を迎えました。

新興国債券の利回りは、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を維持したことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当作成期、米ドルの対円相場は当作成期首の1米ドル106円台後半から当作成期末には103円台半ばへとドル安円高となりました。

当作成期初から2020年6月末にかけては、それまで新型コロナウイルスの感染拡大から急速に落ち込んだ米国経済指標が回復の兆しを示したことを受けて米ドルが買われ、1米ドル108円台の水準までドル高円安が進みました。しかし7月には、米国議会における追加的経済対策の合意に向けての進展が見られなかったことや、米中双方が相手国の総領事館を閉鎖するなど対立の激化が懸念されたことを受けて米ドルが売られ、104円台までドル安円高が進みました。その後は米国における新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念や追加経済対策への期待、発表された米国経済指標の内容などを材料にレンジ内での動きが続きましたが、米国大統領選挙を受け政局への不透明感が払拭されたことや11月初に開催されたFOMCで米連邦準備理事会（FRB）は現行の政策維持を決定したものの、景気回復の支援に向けて金融緩和強化の姿勢を示したことを受けて米ドルが売られ、1米ドル103円台前半までドル安円高が進行しました。その後、欧米企業の新型コ

コロナウイルスのワクチン開発進展の報道を受け米ドルが買い戻され、105円台半ばまでドル高円安となる場面もありましたが、米国内の感染再拡大で経済活動の制限措置が講じられたことや、発表された米国経済指標が軟調となったことなどを背景に米ドルが売られ、結局、米ドルの対円相場は当作成期首を下回る水準で当作成期末を終えました。

ユーロは、米ドルおよび円に対しては堅調となりました。また、新興国通貨は対円でまちまちの動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### (テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」受益証券への投資も行いました。

当作成期末の組入比率は、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」が97.4%、「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」が0.6%となりました。

### (投資対象ファンド：テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

#### <国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本24.5%、メキシコ13.7%、インドネシア10.8%、ノルウェー10.0%、韓国7.6%となりました。

#### <通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル61.4%、円50.8%、インドネシアルピア10.8%となる一方で、ユーロ-35.8%、豪ドル-18.9%となりました。

#### <信用格付別配分>

主な配分については、投資適格79.5%、非投資適格9.0%、その他11.5%となりました。

(2020年11月末時点)

### (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 分配金

当作成期の収益分配は次表の通りです。第114期から第118期については、配当等収益を中心に分配を行いました。第119期につきましては、配当等収益に加え、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定いたしました。なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日
当期分配金	50	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.467%	0.238%	0.241%	0.241%	0.243%	0.245%
当期の収益	26	18	19	23	25	22
当期の収益以外	23	6	5	1	—	2
翌期繰越分配対象額	6,722	6,715	6,709	6,707	6,718	6,716

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### (テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

### (投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

#### ○市場見通し(2020年11月末時点)

世界債券市場においてリスクを積み増すことには慎重な姿勢を継続し、今後、一定の投資機会が生じるまでには時間がかかるものと予想します。新型コロナウイルスの急速な拡大に対応するため、今後も数ヶ月にわたり都市封鎖や様々な規制の継続が必要になると考えます。ワクチンが幅広く行き渡るまでは、移動規制が新型コロナウイルスの拡大を抑制する最も効果的な手段となり、それに伴う所得の喪失や需要の低下などが経済にマイナスの影響を及ぼすことになるでしょう。

運用チームでは、今後数ヶ月に亘る感染拡大時には安全資産と呼ばれる投資先に注目する一方、徐々にワクチンの開発によって感染が抑制される中で、最終的に安全資産のポートフォリオにおける重要性は低下し、コロナ禍後に向け世界が変化するにつれ、いくつかの地域に投資先をシフトする方針です。ただし、選別が重要



になると考えています。いくつかのリスク資産は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が過小評価されており、依然として割高となっています。資産価格と実際のマクロ経済のファンダメンタルズに大きな乖離が見られることから、2021年の1-3月期にかけて市場のボラティリティが高まるリスクがあるとみています。

また、ポストコロナの世界を確立していく中で、環境・社会・ガバナンス（ESG）要因が重要な役割を果たすものと考えます。社会的結束および堅固なガバナンスは、国の危機後の回復を加速させる力になる一方、（社会的結束および堅固なガバナンスが）欠けている国では、回復の妨げになる可能性もあります。残念なことに一部の新興国においてESG要因の弱さによる影響が露呈しています。脆弱な医療体制やインフラ整備の遅れにより、公衆衛生危機への備えが十分でなかった国や、財政不均衡、多額の債務、高い対外依存度により経済危機への備えが十分でなかった国では、国民の生命や生活への影響が大きくなっています。これに対し、コロナ危機以前から相対的に堅固な社会基盤を有し、債務水準も低く、経済の多様化が進んだ国は、概ね健闘しています。

多くの国で所得格差が拡大していることも経済の安定性を弱め、社会的な分断を増長しかねない重大な問題となっています。今回のパンデミックによって景気が悪化し、失業者が増加したことで、すでに存在していた構造的な問題が悪化しています。今後、これらの困難に対し正しく対処することができる国は経済基盤を強化することが可能となる一方、これらの困難を放置する国はさらに経済が不安定になる恐れがあります。運用チームでは、今後の債券市場においてESGが重要な要素になると考えています。ESG要因の改善が見込まれる国が、最も魅力的な投資機会を提供することが多いと考えます。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。先進国を大きくアンダーウェイトとし、米国国債では短期から中期ゾーンを選好して長期ゾーンは非保有としています。また欧州も非保有とする一方で、引き続き主要先進国以外で強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券を選別的に保有しています。それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルレアルについては各々為替ヘッジを行っています。全体として、割高で脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## （投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定））

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	第114期～第119期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 56	% 0.535	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(43)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[\text{作成期間のその他費用}]}{[\text{作成期間の平均受益権口数}]}$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	56	0.539	
作成期間の平均基準価額は、10,432円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

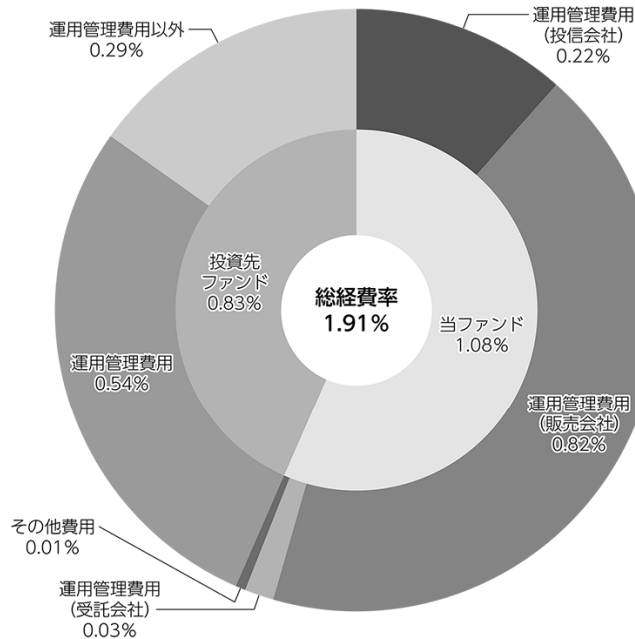
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○売買及び取引の状況

(2020年6月23日～2020年12月21日)

### 投資信託証券

銘柄		第114期～第119期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	口 3,736	千円 3,682	口 55,973	千円 54,500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年12月21日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第113期末	第119期末		
		口数	口数	評価額	比率
	日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)	口 785,042	口 785,042	千円 826	% 0.6
	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	201,124	148,887	143,247	97.4
	合計	986,166	933,929	144,074	98.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年12月21日現在)

項 目	第119期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	826	0.5
投資証券	143,247	90.2
コール・ローン等、その他	14,744	9.3
投資信託財産総額	158,817	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末
	2020年7月20日現在	2020年8月20日現在	2020年9月23日現在	2020年10月20日現在	2020年11月20日現在	2020年12月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	206,321,160	202,563,942	191,642,890	191,302,816	163,169,468	158,817,851
コール・ローン等	2,663,969	3,496,818	2,825,792	3,066,975	3,693,364	14,743,299
投資信託受益証券(評価額)	825,628	826,099	826,413	826,492	826,727	826,727
投資証券(評価額)	201,831,563	195,741,025	187,990,685	187,409,349	158,649,377	143,247,825
未収入金	1,000,000	2,500,000	—	—	—	—
(B) 負債	1,669,183	3,201,551	655,997	613,745	778,014	11,810,592
未払収益分配金	960,833	475,524	461,266	461,020	395,724	360,431
未払解約金	536,700	2,539,772	1	—	213,818	11,303,896
未払信託報酬	170,440	184,938	193,356	151,638	167,271	145,199
未払利息	6	8	7	7	10	40
その他未払費用	1,204	1,309	1,367	1,080	1,191	1,026
(C) 純資産総額(A-B)	204,651,977	199,362,391	190,986,893	190,689,071	162,391,454	147,007,259
元本	192,166,719	190,209,616	184,506,489	184,408,053	158,289,692	144,172,482
次期繰越損益金	12,485,258	9,152,775	6,480,404	6,281,018	4,101,762	2,834,777
(D) 受益権総口数	192,166,719口	190,209,616口	184,506,489口	184,408,053口	158,289,692口	144,172,482口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,650円	10,481円	10,351円	10,341円	10,259円	10,197円

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○損益の状況

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	689,262	540,175	548,532	577,564	731,244	477,228
受取配当金	689,440	540,361	548,829	577,716	731,636	477,588
支払利息	△ 178	△ 186	△ 297	△ 152	△ 392	△ 360
(B) 有価証券売買損益	△ 1,258,370	△ 3,082,147	△ 2,290,162	△ 159,712	△ 1,456,700	△ 871,774
売買益	2,394	53,059	12,734	112	118,445	42,552
売買損	△ 1,260,764	△ 3,135,206	△ 2,302,896	△ 159,824	△ 1,575,145	△ 914,326
(C) 信託報酬等	△ 171,644	△ 186,247	△ 194,723	△ 152,736	△ 168,462	△ 146,225
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 740,752	△ 2,728,219	△ 1,936,353	265,116	△ 893,918	△ 540,771
(E) 前期繰越損益金	△ 48,828,266	△ 49,884,531	△ 51,437,293	△ 53,753,428	△ 46,258,520	△ 43,269,315
(F) 追加信託差損益金	63,015,109	62,241,049	60,315,316	60,230,350	51,649,924	47,005,294
(配当等相当額)	( 107,558,824)	( 106,519,465)	( 103,349,303)	( 103,314,225)	( 88,700,165)	( 80,803,791)
(売買損益相当額)	(△ 44,543,715)	(△ 44,278,416)	(△ 43,033,987)	(△ 43,083,875)	(△ 37,050,241)	(△ 33,798,497)
(G) 計 (D+E+F)	13,446,091	9,628,299	6,941,670	6,742,038	4,497,486	3,195,208
(H) 収益分配金	△ 960,833	△ 475,524	△ 461,266	△ 461,020	△ 395,724	△ 360,431
次期繰越損益金 (G+H)	12,485,258	9,152,775	6,480,404	6,281,018	4,101,762	2,834,777
追加信託差損益金	63,015,109	62,241,049	60,315,316	60,230,350	51,649,924	47,005,294
(配当等相当額)	( 107,558,824)	( 106,519,465)	( 103,349,303)	( 103,314,225)	( 88,700,165)	( 80,803,791)
(売買損益相当額)	(△ 44,543,715)	(△ 44,278,416)	(△ 43,033,987)	(△ 43,083,875)	(△ 37,050,241)	(△ 33,798,497)
分配準備積立金	21,617,624	21,219,950	20,452,580	20,385,432	17,646,421	16,028,995
繰越損益金	△ 72,147,475	△ 74,308,224	△ 74,287,492	△ 74,334,764	△ 65,194,583	△ 60,199,512

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 第114期首元本額は192,237,617円、第114～119期中追加設定元本額は1,746,668円、第114～119期中一部解約元本額は49,811,803円です。  
 (2) 1口当たり純資産額は、第114期1.0650円、第115期1.0481円、第116期1.0351円、第117期1.0341円、第118期1.0259円、第119期1.0197円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第114期 (自2020年6月23日 至2020年7月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (517,618円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (107,558,824円) 及び分配準備積立金 (22,060,839円) より、分配対象収益は、130,137,281円 (1万円当たり6,772円) であり、うち960,833円 (1万円当たり50円) を分配金額としております。

- (2) 第115期 (自2020年7月21日 至2020年8月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (353,928円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (106,519,465円) 及び分配準備積立金 (21,341,546円) より、分配対象収益は、128,214,939円 (1万円当たり6,740円) であり、うち475,524円 (1万円当たり25円) を分配金額としております。

- (3) 第116期 (自2020年8月21日 至2020年9月23日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (353,809円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (103,349,303円) 及び分配準備積立金 (20,560,037円) より、分配対象収益は、124,263,149円 (1万円当たり6,734円) であり、うち461,266円 (1万円当たり25円) を分配金額としております。

- (4) 第117期 (自2020年9月24日 至2020年10月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (424,828円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (103,314,225円) 及び分配準備積立金 (20,421,624円) より、分配対象収益は、124,160,677円 (1万円当たり6,732円) であり、うち461,020円 (1万円当たり25円) を分配金額としております。

- (5) 第118期 (自2020年10月21日 至2020年11月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (562,782円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (88,700,165円) 及び分配準備積立金 (17,479,363円) より、分配対象収益は、106,742,310円 (1万円当たり6,743円) であり、うち395,724円 (1万円当たり25円) を分配金額としております。

- (6) 第119期 (自2020年11月21日 至2020年12月21日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (331,003円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (80,803,791円) 及び分配準備積立金 (16,058,423円) より、分配対象収益は、97,193,217円 (1万円当たり6,741円) であり、うち360,431円 (1万円当たり25円) を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	25円	25円	25円	25円	25円

### ◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。



## フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について

2020年6月30日決算

(計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日)

テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース／為替ヘッジなしコース／毎月分配型・為替ヘッジなしコースの投資対象ファンドであるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの決算は年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2020年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ルクセンブルク籍／外国投資法人／オープンエンド型／米ドル建て <sup>注1</sup>
投資目的	ファンドの主たる投資目的は、インカム・ゲイン、キャピタル・ゲインおよび通貨の利益を総合したトータル・リターンを最大化することです。
主な投資戦略	主として世界各国の政府または政府機関が発行する固定および変動利付債券等に投資することにより、上記の投資目的を達成することを目指します。投資制限の範囲内で社債に投資することができます。また、複数の国によって組織または援助された国際機関（国際復興開発銀行や欧州投資銀行など）が発行する債券にも投資することができます。投資目的のためにデリバティブ取引を行うことができます。デリバティブ取引には、スワップ（金利スワップ、クレジット・デフォルト・スワップ、トータル・リターン・スワップなど）、先渡しおよびクロス先渡し取引（フォワードおよびクロスフォワード）、先物取引（国債先物を含む）、オプションが含まれます。デリバティブ取引により、特定のイールドカーブ、デュレーション、通貨、信用（クレジット）のポジションが負（マイナス）となることがあります。他の証券、資産または通貨の値動きに価格が連動する証券や商品にも投資することができます。純資産総額の10%までの範囲内で債務不履行の状態にある債券を保有する場合があります。また、優先株式や債券から転換されたまたは交換された株式を保有することもあります。新興国、デリバティブ取引、非投資適格および債務不履行の状態にある債券への投資は、高いリスクを伴います。
主な投資制限	デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定しません。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク（米国） 管理会社：フランクリン・テンプレトン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル（ルクセンブルク） 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー（ルクセンブルク）
費用 <sup>注2</sup>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.55% 管理会社報酬：年0.20% 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 限定為替ヘッジコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPY限定為替ヘッジ・クラス」に投資します。

為替ヘッジなしコースおよび毎月分配型・為替ヘッジなしコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPYクラス」に投資します。

(注2) ファンドが投資を行う「JPY限定為替ヘッジ・クラス」、「JPYクラス」のものです。その他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー  
テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド  
損益および純資産変動計算書  
2020年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

<b>期首純資産</b>	<b>15,245,568,826</b>
<b>収益</b>	
債券利息 (税引後)	607,256,507
預金利息	3,271,648
その他収益	16,204,611
<b>収益合計</b>	<b>626,732,766</b>
<b>費用</b>	
運用報酬	89,413,325
管理会社報酬	28,466,482
保管銀行報酬	4,432,848
監査費用	44,250
その他費用	60,783,798
<b>費用合計</b>	<b>183,140,703</b>
関係法人からの費用戻入	(355,069)
<b>純費用合計</b>	<b>182,785,634</b>
<b>投資純収益</b>	<b>443,947,132</b>
投資有価証券売買に係る実現純損失	(624,960,783)
外国為替先渡契約に係る実現純利益	253,754,947
金利スワップ契約に係る実現純損失	(1,115,224,279)
オプション契約に係る実現純利益	262,734,278
外国為替取引に係る実現純損失	(71,419,066)
<b>当期実現損失</b>	<b>(851,167,771)</b>

投資未実現評価損	(669, 863, 586)
外国為替先渡契約未実現評価損	(67, 688, 239)
金利スワップ契約未実現評価益	560, 542, 925
オプション契約未実現評価損	(18, 082, 632)
外国為替取引未実現評価損	(426, 184)
キャピタルゲイン課税引当	902, 219
<b>運用による純資産の減少額</b>	<b>(1, 045, 783, 268)</b>
<b>元本異動等</b>	
追加設定額	2, 495, 315, 474
解約額	(5, 942, 336, 441)
追加設定・一部解約時の収益調整	(24, 355, 374)
	(3, 471, 376, 341)
分配金額	(736, 910, 720)
<b>元本異動による純資産の減少額</b>	<b>(4, 208, 287, 061)</b>
<b>期末純資産</b>	<b>9, 991, 498, 497</b>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 組入資産の明細

2020年6月30日現在

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
	その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券				
	公社債				
	国債証券および地方債証券				
687,552,020,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 12/10/29	KOR	KRW	573,382,426	5.74
76,420,100	Government of Mexico, senior note, M, 7.25%, 12/09/21	MEX	MXN	344,459,877	3.45
407,303,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 09/10/21	KOR	KRW	342,567,565	3.43
71,543,760	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/09/22	MEX	MXN	322,049,464	3.22
2,548,991,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 2.00%, 05/24/23	NOR	NOK	278,713,858	2.79
3,639,789,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR53, 8.25%, 07/15/21	IDN	IDR	263,849,761	2.64
1,804,081,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 3.00%, 03/14/24	NOR	NOK	206,680,127	2.07
2,310,430,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR46, 9.50%, 07/15/23	IDN	IDR	177,070,893	1.77
145,675,800,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 09/10/24	KOR	KRW	123,064,629	1.23
1,395,206,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR40, 11.00%, 09/15/25	IDN	IDR	116,079,604	1.16
7,795,000,000	Government of India, senior bond, 8.13%, 09/21/22	IND	INR	111,781,246	1.12
18,740,200	Government of Mexico, senior bond, M, 8.00%, 12/07/23	MEX	MXN	89,929,634	0.90
491,100	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/21	BRA	BRL	88,247,873	0.88
1,800,600,000	Inter-American Development Bank, senior bond, 7.50%, 12/05/24	SP	MXN	84,467,630	0.85
247,187,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 10.00%, 07/24/24	COL	COP	81,031,211	0.81
468,790,000	Government of Ghana, 19.00%, 11/02/26	GHA	GHS	75,135,712	0.75
463,990,000	Government of Ghana, senior bond, 19.75%, 03/15/32	GHA	GHS	74,972,328	0.75
554,271,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 1.75%, 03/13/25	NOR	NOK	61,519,260	0.62
6,448,124,218	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.20%, 03/18/22	ARG	ARS	61,000,015	0.61
8,646,500	Government of Mexico, senior bond, M 20, 10.00%, 12/05/24	MEX	MXN	45,314,253	0.45
577,127,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR70, 8.375%, 03/15/24	IDN	IDR	43,137,762	0.43
139,388,600,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 6.00%, 04/28/28	COL	COP	37,774,352	0.38
4,392,251,785	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.40%, 03/25/23	ARG	ARS	37,167,080	0.37
328,862,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 1.50%, 02/19/26	NOR	NOK	36,348,189	0.36
456,738,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR35, 12.90%, 06/15/22	IDN	IDR	36,324,373	0.36
4,910,100,000	Argentine Bonos del Tesoro, 18.20%, 10/03/21	ARG	ARS	35,676,702	0.36
4,392,251,788	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.50%, 03/25/24	ARG	ARS	34,702,508	0.35
2,385,000,000	Government of India, senior note, 8.79%, 11/08/21	IND	INR	33,498,383	0.34
436,318,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR61, 7.00%, 05/15/22	IDN	IDR	31,357,957	0.31
7,882,350,000	Argentine Bonos del Tesoro, senior note, 15.50%, 10/17/26	ARG	ARS	28,343,446	0.28
156,260,000	Government of Ghana, 19.75%, 03/25/24	GHA	GHS	27,541,726	0.28
156,260,000	Government of Ghana, 18.75%, 01/24/22	GHA	GHS	27,390,557	0.28
1,789,000,000	Government of India, senior note, 8.15%, 06/11/22	IND	INR	25,373,324	0.25

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
357,293,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR63, 5.625%, 05/15/23	IDN	IDR	24,783,665	0.25
4,715,255,000	Argentine Bonos del Tesoro, 16.00%, 10/17/23	ARG	ARS	23,659,935	0.24
4,836,660	Government of Mexico, senior bond, M, 6.75%, 03/09/23	MEX	MXN	22,144,817	0.22
69,274,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 7.00%, 05/04/22	COL	COP	19,713,933	0.20
59,093,700,000	Titulos de Tesoreria, B, 7.75%, 09/18/30	COL	COP	17,282,939	0.17
1,023,000,000	Government of India, senior note, 6.84%, 12/19/22	IND	INR	14,367,635	0.14
181,396,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR43, 10.25%, 07/15/22	IDN	IDR	13,841,077	0.14
132,795,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR39, 11.75%, 08/15/23	IDN	IDR	10,776,381	0.11
126,260,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR44, 10.00%, 09/15/24	IDN	IDR	10,008,681	0.10
367,385,000	Government of Argentina, FRN, 26.415%, 04/03/22 †	ARG	ARS	3,321,741	0.03
4,346,000,000	Government of Colombia, senior bond, 9.85%, 06/28/27	COL	COP	1,461,738	0.02
2,728,000,000	Government of Colombia, senior bond, 4.375%, 03/21/23	COL	COP	730,021	0.01
1,220,000	Government of Ghana, 24.75%, 07/19/21	GHA	GHS	224,624	0.00
250,000	Government of Ghana, 17.60%, 11/28/22	GHA	GHS	42,815	0.00
				4,118,313,727	41.22
1年以内に償還する証券					
6,116,400,000	Government of Sweden, 1047, 5.00%, 12/01/20	SWE	SEK	670,537,743	6.71
59,715,350,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 08/24/20	JPN	JPY	553,179,003	5.54
55,592,400,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 09/10/20	JPN	JPY	515,032,499	5.16
60,259,950,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 08/11/20	JPN	JPY	558,188,237	5.59
1,703,790	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/20	BRA	BRL	313,355,179	3.14
33,177,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 07/06/20	JPN	JPY	307,270,487	3.08
344,550,300,000	Korea Treasury Bond, senior bond, 4.25%, 06/10/21	KOR	KRW	297,137,147	2.97
2,692,046,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 3.75%, 05/25/21	NOR	NOK	288,979,972	2.89
27,348,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 10/12/20	JPN	JPY	253,411,545	2.54
26,657,400,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 11/10/20	JPN	JPY	247,056,019	2.47
185,000,000	FHLB, 0.00%, 07/09/20	USA	USD	184,995,479	1.85
952,260	Letra Tesouro Nacional, Strip, 10/01/20	BRA	BRL	174,232,158	1.74
26,924,300	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/10/21	MEX	MXN	119,083,977	1.19
590,250	Nota do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/21	BRA	BRL	112,701,782	1.13
9,938,600,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 07/10/20	JPN	JPY	92,048,050	0.92
7,671,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 09/23/20	JPN	JPY	71,072,854	0.71
975,674,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR31, 11.00%, 11/15/20	IDN	IDR	70,157,595	0.70
448,362,000	Norway Treasury Bill, 144A, Reg S, 0.00%, 09/16/20	NOR	NOK	46,566,196	0.47
601,537,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR34, 12.80%, 06/15/21	IDN	IDR	45,344,220	0.45
250,200	Letra Tesouro Nacional, Strip, 04/01/21	BRA	BRL	45,288,004	0.45
33,000,000	FHLB, 0.00%, 07/10/20	USA	USD	32,999,092	0.33
25,000,000	FHLB, 0.00%, 07/07/20	USA	USD	24,999,542	0.25

# FRANKLIN TEMPLETON®

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
4,223,398	Mexican Udibonos, Index Linked, 2.50%, 12/10/20	MEX	MXN	18,515,401	0.19
68,795,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 11.00%, 07/24/20	COL	COP	18,394,276	0.19
1,557,353,800	Letras de la Nacion Argentina con Ajuste por CER, Index Linked, 0.00%, 12/04/20	ARG	ARS	15,330,225	0.15
1,476,765,000	Argentina Treasury Bond BONGER, Index Linked, 1.10%, 04/17/21	ARG	ARS	14,375,062	0.14
11,000,000	FHLB, 0.00%, 07/02/20	USA	USD	10,999,966	0.11
17,991,000,000	Government of Colombia, senior bond, 7.75%, 04/14/21	COL	COP	4,917,401	0.05
4,920,000	Government of Ghana, 16.25%, 05/17/21	GHA	GHS	845,167	0.01
1,170,000	Government of Ghana, senior note, 16.50%, 03/22/21	GHA	GHS	202,015	0.00
870,000	Government of Ghana, 24.75%, 03/01/21	GHA	GHS	157,779	0.00
460,000	Government of Ghana, 24.50%, 06/21/21	GHA	GHS	84,447	0.00
320,000	Government of Ghana, senior note, 18.25%, 09/21/20	GHA	GHS	55,900	0.00
				<u>5,107,514,419</u>	<u>51.12</u>
	公社債計			<u>9,225,828,146</u>	<u>92.34</u>
	小計			<u>9,225,828,146</u>	<u>92.34</u>
	合計			<u><u>9,225,828,146</u></u>	<u><u>92.34</u></u>

† Floating Rates are indicated as at June 30, 2020

## 日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定） の運用状況について

（計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日）

「テンプレート世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」、「テンプレート世界債券ファンド為替ヘッジなしコース」、「テンプレート世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」が組入れを行っている投資信託「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」の決算は、年1回（毎年7月22日）です。したがって、直前の計算期末である2020年7月22日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）

商品分類	追加型株式投資信託／バランス型	
信託期間	無期限	
運用方針	NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、これを上回る投資成果をめざします。主としてマザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。	
主要投資対象	ベビーファンド	日本短期債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
信託報酬率	年0.143%（税抜0.13%）	
関係法人	委託会社：三菱UFJ国際投信株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社	

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			NOMURA-BPI短期		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2016年7月22日)	10,534	0	0.4	236.97	0.5	94.1	—	135
10期(2017年7月24日)	10,532	0	△0.0	235.85	△0.5	97.0	—	153
11期(2018年7月23日)	10,543	0	0.1	235.65	△0.1	97.4	—	160
12期(2019年7月22日)	10,546	0	0.0	235.76	0.0	98.1	—	157
13期(2020年7月22日)	10,518	0	△0.3	235.08	△0.3	95.1	—	135

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 短 期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年 7月22日	10,546	—	235.76	—	98.1	—
7 月 末	10,548	0.0	235.77	0.0	98.4	—
8 月 末	10,553	0.1	236.09	0.1	92.3	—
9 月 末	10,553	0.1	236.12	0.2	93.9	—
10 月 末	10,548	0.0	235.73	△0.0	93.6	—
11 月 末	10,545	△0.0	235.50	△0.1	92.9	—
12 月 末	10,544	△0.0	235.27	△0.2	93.7	—
2020年 1 月 末	10,552	0.1	235.36	△0.2	93.3	—
2 月 末	10,565	0.2	235.68	△0.0	92.2	—
3 月 末	10,494	△0.5	235.09	△0.3	91.0	—
4 月 末	10,499	△0.4	235.26	△0.2	97.0	—
5 月 末	10,506	△0.4	235.16	△0.3	97.2	—
6 月 末	10,510	△0.3	235.07	△0.3	92.5	—
(期 末) 2020年 7月22日	10,518	△0.3	235.08	△0.3	95.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

2019年7月23日～2020年7月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	15	0.143	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(12)	(0.110)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	15	0.146	

期中の平均基準価額は、10,532円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 140,387	千口 121,025	千円 135,645

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本短期債券マザーファンド	千円 135,645	% 99.7
コール・ローン等、その他	449	0.3
投資信託財産総額	136,094	100.0

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	136,094,371
コール・ローン等	447,299
日本短期債券マザーファンド(評価額)	135,645,452
未収入金	1,620
(B) 負債	110,068
未払信託報酬	107,963
その他未払費用	2,105
(C) 純資産総額(A-B)	135,984,303
元本	129,286,925
次期繰越損益金	6,697,378
(D) 受益権総口数	129,286,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,518円

### <注記事項>

- ①期首元本額 149,752,007円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 20,465,082円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0518円です。

### ②分配金の計算過程

項 目	2019年7月23日～ 2020年7月22日
費用控除後の配当等収益額	583,931円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	7,672,604円
分配準備積立金額	5,007,549円
当ファンドの分配対象収益額	13,264,084円
1万口当たり収益分配対象額	1,025円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

## ○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 34
受取利息	1
支払利息	△ 35
(B) 有価証券売買損益	△ 130,768
売買益	51,338
売買損	△ 182,106
(C) 信託報酬等	△ 224,985
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 355,787
(E) 前期繰越損益金	1,953,815
(F) 追加信託差損益金	5,099,350
(配当等相当額)	( 7,672,604)
(売買損益相当額)	(△2,573,254)
(G) 計(D+E+F)	6,697,378
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	6,697,378
追加信託差損益金	5,099,350
(配当等相当額)	( 7,672,604)
(売買損益相当額)	(△2,573,254)
分配準備積立金	5,591,480
繰越損益金	△3,993,452

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# 日本短期債券マザーファンド

決算日2020年7月22日

（計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日）

運用方針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
委託会社	三菱UFJ国際投信株式会社

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		NOMURA-BPI短期		債組入比率	債先物比率	純総資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
18期(2016年7月22日)	11,161	0.5	236.97	0.5	94.1	—	2,486
19期(2017年7月24日)	11,175	0.1	235.85	△0.5	97.3	—	2,281
20期(2018年7月23日)	11,202	0.2	235.65	△0.1	97.6	—	2,061
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840
22期(2020年7月22日)	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—	1,713

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		NOMURA - B P I 短期		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年 7月22日	円 11,221	% —	235.76	% —	% 98.3	% —
7月末	11,224	0.0	235.77	0.0	98.7	—
8月末	11,231	0.1	236.09	0.1	92.5	—
9月末	11,232	0.1	236.12	0.2	94.1	—
10月末	11,228	0.1	235.73	△0.0	93.8	—
11月末	11,226	0.0	235.50	△0.1	93.1	—
12月末	11,226	0.0	235.27	△0.2	94.0	—
2020年 1月末	11,236	0.1	235.36	△0.2	93.5	—
2月末	11,252	0.3	235.68	△0.0	92.5	—
3月末	11,177	△0.4	235.09	△0.3	91.2	—
4月末	11,184	△0.3	235.26	△0.2	97.3	—
5月末	11,193	△0.2	235.16	△0.3	97.5	—
6月末	11,198	△0.2	235.07	△0.3	92.7	—
(期 末) 2020年 7月22日	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

## ○ 組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				未		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	130,000	131,458	7.7	—	4.1	3.5	—
特殊債券 (除く金融債)	100,000 ( 100,000)	100,024 ( 100,024)	5.8 ( 5.8)	— (—)	— (—)	— (—)	5.8 ( 5.8)
普通社債券	1,400,000 (1,400,000)	1,401,411 (1,401,411)	81.8 (81.8)	— (—)	— (—)	40.7 (40.7)	41.1 (41.1)
合 計	1,630,000 (1,500,000)	1,632,893 (1,501,435)	95.3 (87.6)	— (—)	4.1 (—)	44.2 (40.7)	46.9 (46.9)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千 円	千 円
<b>国債証券</b>	%		
第135回利付国債 (5年)	0.1	20,000	20,132
第138回利付国債 (5年)	0.1	10,000	10,087
第143回利付国債 (5年)	0.1	30,000	30,322
第342回利付国債 (10年)	0.1	70,000	70,915
小 計		130,000	131,458
<b>特殊債券(除く金融債)</b>			
第48回韓国産業銀行 (2018)	0.23	100,000	100,024
小 計		100,000	100,024
<b>普通社債券</b>			
第15回Zホールディングス	0.35	100,000	99,988
第18回日立製作所	0.06	100,000	99,894
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	98,959
第28回三菱東京UFJ銀行 (劣後特約付)	1.56	100,000	100,718
第23回三井住友銀行 (劣後特約付)	1.61	100,000	100,598
第19回みずほ銀行 (劣後特約付)	1.67	100,000	102,250
第22回芙蓉総合リース	0.04	100,000	99,595
第16回東京センチュリーリース	0.2	100,000	100,003
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	99,965
第75回アコム	0.309	100,000	100,025
第74回三菱UFJリース	0.09	100,000	99,815
第6回マラヤン・バンキング	0.224	100,000	99,397
第17回シティグループ	2.04	100,000	100,257
第8回ケーティー	0.3	100,000	99,947
小 計		1,400,000	1,401,411
合 計		1,630,000	1,632,893

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千 円	%
公社債	1,632,893	95.3
コール・ローン等、その他	80,784	4.7
投資信託財産総額	1,713,677	100.0



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,713,677,746
コール・ローン等	78,375,976
公社債(評価額)	1,632,893,000
未収利息	2,339,155
前払費用	69,615
(B) 負債	161,817
未払解約金	161,754
未払利息	63
(C) 純資産総額(A-B)	1,713,515,929
元本	1,528,811,692
次期繰越損益金	184,704,237
(D) 受益権総口数	1,528,811,692口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,208円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,640,019,714円  
 期中追加設定元本額 331,436,818円  
 期中一部解約元本額 442,644,840円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1208円です。

## ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ 積立ファンド（日本バランス型）	1,110,138,844円
三菱UFJ 国内バランス20	264,497,685円
日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）	121,025,564円
日本短期債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	24,262,431円
三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド	8,887,168円
合計	1,528,811,692円

## ○損益の状況（2019年7月23日～2020年7月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,598,485
受取利息	10,637,194
支払利息	△ 38,709
(B) 有価証券売買損益	△ 12,260,700
売買益	1,325,100
売買損	△ 13,585,800
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,662,215
(D) 前期繰越損益金	200,290,788
(E) 追加信託差損益金	39,809,761
(F) 解約差損益金	△ 53,734,097
(G) 計(C+D+E+F)	184,704,237
次期繰越損益金(G)	184,704,237

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、

フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。